

主催
RIRiC はなしてガッテンプロジェクト
協賛
帯広畜産大学
北海道大学大学院農学研究院

BSE 熟議場

in 帯広

講演者

平川 秀幸 氏

大阪大学 (専門: 科学と社会の相互作用)

十勝総合振興局から

(食肉衛生検査所所長・家畜保健衛生所所長)

堀内 基広 氏

(北海道大学)

プリオン研究

平川 氏

門平 睦代 氏

(帯広畜産大学)

疫学研究

専門家

だれでも参加

みんなで語ろう「BSE対策、どうなっているの？」

午前 『聞いて問う』

◆BSE とは何だったのか

- ・ DVD を見る
- ・ 講演 ①BSE 問題の復習と現状
②北海道の今
- ・ 専門家に聞こう

新聞社やTV局の取材が入り、当日の様子が
映像もしくは記事により報道される可能
性がありますので、予めご了承ください。

ランチ・ミーティング

午後 『話し合う』

◆考えてみよう

- ・ グループで話そう
- ・ 専門家に聞こう
- ・ まとめてみよう

【課題】

BSE 清浄国になったら、これまでの対策は
どのようにしていったらよいかを、
いくつかのシナリオをながめて、考えよう

【申し込み方】

【午前のみ参加】 ◆申込み不要 (連絡大歓迎!)

【午後にも参加】 ◆申込み必要 (7月4日午後6時まで)

①か②を選び、あわせて、
お名前・ご年齢・ご連絡先 をお知らせ下さい

①ランチ・ミーティングまで参加

②午後の部全てに参加

無料

【申込み・問い合わせ先】 RIRiC 事務局 (北海道大学内)

電話&FAX 011-706-4129

e-mail riric@agr.hokudai.ac.jp

ホームページ

<http://www.agr.hokudai.ac.jp/riric/>

帯広畜産大学門平研究室0155-49-5617

Ustreamチャンネル

<http://www.ustream.tv/channel/riric-gatten>

7月7日(土)

10:10~12:30

13:20~17:30

講義棟 大講義室他

(図書館入り口からお入りください)
【会場】 帯広畜産大学 (帯広市稲田町西2線) 9:30~

ワークショップ：「BSE 熟議場 in 帯広」

みんなで語ろう「BSE 対策、どうなっているの？」

7月7日（土）10：10～17：30（9：30 受付開始）

会場 帯広畜産大学 講義棟 大講義室他

会場は
帯広

1. 趣旨と目的

ワークショップ「BSE 熟議場 in 帯広」は、「学習会付き熟議場」という市民の気づきと関係者間の相互理解を深めるための対話手法を用いて、BSE 問題について会合参加者が学び話し合う会合です。日本はBSE 発生後10年以上経過し、対策の効果が有り、現在「管理されたリスク国」になっていて、最近になってBSE 対策の見直しが進められています。そのような時期に参加者が学び話し合い意見集約まで行うことは、気づきや相互理解を深めるという観点から、意味のあることと考えられます。

目的は、場が適切に用意されれば参加者自らがリスクについて考えや意見をまとめることができると仮定し、その実証を兼ねた「BSE 熟議場 in 帯広」の開催を行うことです。つまり、熟議結果を政策決定者側（道庁等）に届けることをめざしているのではなく、参加者がBSE 問題に関する理解を深め、参加者同士の相互理解が深まることを期待しています。なお、何か1つの考え方を強要するものではないことを、予め述べておきます。

2. 手法と話し合う課題

「学習会付き熟議場」は、納得に基づくリスクコミュニケーションの可能性とそのあり方を探求しているRIRiCはなしてガッテンプロジェクトが開発した対話手法であり、土曜日まるまる一日を費やして行う会合です。午前と午後の二部構成になっていますが、午前だけの参加でもよいことになっています。

午前は大きな会場を使い、専門家から話題提供してもらった上で、たつぷり「専門家に問う」という質疑応答の時間をとりますので、学習効果が深まります。ランチ・ミーティングではRIRiCが用意したシナリオを提示します。午後は小会場を使い、午前の参加者を中心に20～30人程度がいくつかのグループに分かれて意見交換をします。途中で専門家に質問する時間帯がありますので、議論はさらに深まります。最後にグループ報告会を行い、意見を集約できるかどうか、話し合います。

2012年1月13日までの間に、2002年1月13日以降に生まれた牛の中からBSEが発生しなかったなら、日本は現在の「管理されたリスク国」から「BSE 清浄国」に申請できる資格を得ます。

○厳格な飼料規制 <<現状>>
○全年齢での特定危険部位の除去
●国は21ヶ月齢以上の全ての牛のBSE検査 <実質全頭検査>
●都道府県は独自予算で20ヶ月齢以下の全ての牛のBSE検査を実施

<課題>
これまで北海道や日本で行っていたBSE対策は、どのようにしていったらよいのでしょうか？シナリオを用意しましたので、意見を述べ合しましょう。

3. 周辺地図



4. 申込み・問い合わせ先

◆◆ 申込み・問合せ先 ◆◆

〒060-8589 札幌市北区北9条西9丁目

北海道大学大学院農学研究院

RIRiC はなしてガッテンプロジェクト事務局

Tel & Fax 011-706-4129

E-mail riric@agr.hokudai.ac.jp

HP <http://www.agr.hokudai.ac.jp/riric/>

RIRiC：「アクターの協働による

双方向的リスクコミュニケーションのモデル化研究」

科学技術振興機構／社会技術研究開発センターの助成を受け、2009年10月から2012年9月まで市民参加型リスクコミュニケーションのモデル探しをしています。

（研究代表者 飯澤 理一郎 北海道大学大学院農学研究院教授）

バス⑦

帯広駅（乗り場9番）⇒緑陽高校前：9：02 出発（乗車時間30分）徒歩15分
緑陽高校前⇒帯広駅：12：45、13：15、13：45、17：45、18：15、18：45